

てふてふ



VOL.03

2008.07

tefufefu

ニュースレター

topics

沉痛悼念

对于5月12日四川省汶川县遭受严重地震灾害,我们日本国际交流基金会北京事务所全体员工向灾区死难者表示最深切的悼念,对身处灾区和受到地震灾害影响的人们表示最亲切的慰问。我们的关切与你们同在。希望灾区人民生活早日恢复稳定,重建家园。

日本的社会企业和社会企业家概述
日语能力测试将进行改版
“长春中日交流之窗”隆重开馆



日本的社会企业和社会企业家概述

作者：NPO法人ETIC
高级主管 广石拓司

2007年，日本的各大新闻、杂志、电视对社会企业做了不少相关报道，社会企业和社会企业家也开始逐渐为大众所认知。究其原因，近年来政府在缩小城乡差距以及城市的贫富落差、削减医疗福利公共支出等一系列行政和财政改革的过程中认识到仅仅依靠政府主导奏效甚微；面对种种社会问题，社会企业作为民间力量的生力军备受关注和期待。另一方面，介绍国内外社会企业的出版物以及社会企业家根据自身经历撰写的书籍相继出版，也进一步推动了相关概念的普及。

日本社会企业发展的历史背景
对于大多数日本人而言，‘做生意’和造福社会本来就不是互相排斥的两件事。早在江户时代（1603-1868）一些寺庙就为当地儿童提供教育，被称作“寺子屋活动”。而以精明而闻名的近江商人（现滋贺县一带）则一直秉承“三方都好”的经商理念，即买卖中要让买方、卖方、社会都得利的意思。这个理念无论是过去还是现在都得到了社会的推崇。

在当代日本大企业的创始人中有很多社会意识强烈的人士，例如，为“消除世上的饥饿”而开发出方便面的日清食品创始人安藤百福；怀着“要让家用电器象自来水一样送达千家万户，创造多彩生活”的理想松下电器创始人松下幸之助。松下在晚年时还致力于培养民间政治家。此外，大企业也有尊重社会性的传统，例如，以丰田汽车为首的超大型企业就一向注重劳资间的协调关系。

虽然社会性和商业性共存的思想在日本企业文化中扎下了根，但是一直以来，企业在紧密结合地区需求来解决社会问题的方面所发挥的作用仍然很有限。与此同时，日本公民社会对社会改革的推动力量也很弱小。

从历史背景来看，明治维新尤其是二战结束后，日本经济在中央政府和大型企业的主导下飞速成长，形成了中央集权型的社会结构。“社会课题只要交给行政部门或大企业去解决就行了”，在这种观念的支配下，地区自发性解决社会问题的力量相对薄弱。再看财团法人、社团法人、医疗法人等民间公益法人，它们的成立不仅需要满足政府部门制定的苛刻标准，而且还要在其严密监督下运营，因此大多数公益法人的事业发展都无法跟上时代的步伐，满足个性化的需求。

日本社会企业的兴起
上世纪70年代的公害引起了社会对于环境和农药问题的关注，出现了将城市消费者和从事有机农业的农家联系在一起的‘生活协会俱乐部’和‘保护大地协会’等市民团体，循环再利用的各种活动也逐渐普及。到了80年代后期，随着社会的老龄化，针对老年人看护服务中出现的品质问题，由市民团体提供看护

服务的风潮也开始发展壮大。在这一系列的进程中，市民团体不再只是一味地发动或反对什么，而是开始通过建立事业来寻求现存机构中所缺少的解决问题的方法。这可以说是日本社会企业的源起。

另一个重要的契机是1995年发生的神户大地震。当时，与行政部门的对应不力相比，志愿者的救灾活动十分迅速、灵活而到位，受到了社会舆论的强烈关注，公民社会在社会中不可或缺的功能也得到了公众的广泛认同。1998年NPO法正式出台，赋予了市民活动团体法人资格。目前日本全国已有约32,000家NPO得到了认证，为市民自发性解决社会问题的活动打下了基础。

从90年代后期开始，充分利用地区资源开发地方特产，振兴地方经济的‘事业型NPO’逐渐增多，它们从事的活动被称为‘社区事业’（community business）。除此以外，一些股份有限公司不以发行股份或分红为目的，而以教育、福利等高社会性服务为经营内容的企业也开始涌现。

这些商业性和社会性并举共存的事业体进入21世纪以后被称为‘社会企业’。目前在日本对社会企业的范畴没有明确的法律规定，以事业运作为主体的NPO、为解决社会问题而创立了股份公司都包括在这一概念里。

年轻人关注创新的生活方式和工作方式
我所在的机构，NPO法人ETIC于2001年开设了ETIC社会创业中心这一网上平台，2002年起又为立志成为社会企业家的年轻人设立了名为‘STYLE’的商业计划竞赛，起到了普及社会企业家概念的作用。

率先对社会企业这一概念作出明锐反应的是年轻人。90年代后期，日本经济整体停滞不前，而年轻人在IT等新技术、文化等领域创业的例子不断增加。社会期待依靠年轻人来引领社会创新，许多在相对充裕社会环境下长大的年轻人不想一味地追求金钱，而是希望通过工作来实现自身的价值，并为社会做出贡献。在他们看来，社会企业家这个概念不仅是一种新的事业，也是一种崭新的生活方式和价值体现。

社会企业家：社会创新的推动者
综上所述，日本当代的社会企业家大致可以分为三个部分。

第一部分是80年代起就致力与推动社会革新的老一代社会企业家。其中的代表人物之一是NPO法人温馨护理中心的代表石川治江女士。石川女士为日本护理服务产业化的确立做出了巨大的贡献。

为了给残障人士提供生活方面的支持，石

川先后参与了呼吁当地行政在火车站设置电梯的运动以及残障人士看护服务等工作。在和看护社工交流的过程中，石川发现很多社工工作负担和压力过重。1987年，石川创办了‘温馨护理中心’，中心的理念是改善社会福利服务的模式。

为了打破地区划分和护理种类的限制，让用户能在家中得到365天24小时的高质量的服务，护理中心在用户和提供服务的护理人员之间的服务合约上下了一番功夫。石川认为要提高服务质量，就必须对服务的内容进行量化规定。为此她对护理人员的护理过程进行了详细的分析和系统的整理。为了提高护理服务协调的效率，石川还将护理内容分类编号，并在此基础上开发了电脑护理服务质量管理系统。

这一系列的举措为‘合约护理服务’这一崭新的模式打下了基础。日本政府在90年代后期开始在全国范围制定养老及护理保险制度，石川所开发的护理分类管理系统为保险内容及金额的设定提供了重要的参考。

另一个著名的社会企业是非营利团体守护大地协会和大地股份有限公司。由藤田和芳创办的这两个机构以实现食品安全为宗旨，通过NPO和作为商业部分的大地公司建立农户和消费者之间的‘看得见的纽带’。

藤田年轻时曾经参与过以防止农药污染和核电站污染为主题的市民运动。通过自身积累的经验，藤田提出了‘与其叫嚷100万次反对使用农药，不如从种植、运输和食用一根没有污染的萝卜做起’这一响亮的口号。1975年，藤田开始从无农药种植的农户手中收购蔬菜，在城市小区直接销售。此后，藤田又开始用送货上门的形式销售蔬菜。今天，大地公司食品送货业务的签约消费者已经达到7万人，签约农户2500人，资金规模达到140亿日元。

此外，守护大地协会还协同大地公司一起推出了以环保节能为主题的‘百万人烛光之夜’活动，以倡导消费本地产品为主题的‘食品里程积分’活动等等。

石川和藤田所开创的事业在以往市民团体依靠个人热情或单纯的‘反对运动’的基础上有了很大地突破，社会各个层面的人群以各种方式参与到了这些活动中，加速了社会普及效应，并最终对政府的政策制度产生了巨大而积极的影响，真正实现了从个人理想到让社会变得更美好的奋斗历程。

第二部分是从事社区事业的社会企业家。社区事业以家庭主妇和退休人员为主体，通过充分利用地区资源来创业，并为社区创造就业机会。

德岛县上胜村是一个山沟里的小村庄，

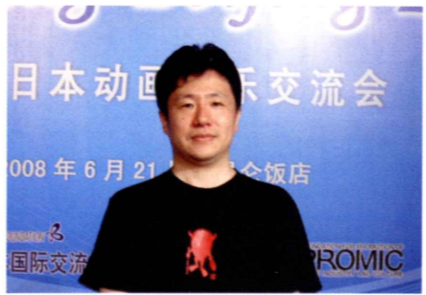
2000名居民中有一半是老年人。由180户老年农户为中心建立起来的社会企业‘色彩缤纷’用树叶、野菜和野花制作高档饭店餐盘的装饰，年销售额达到2亿5千万日元。

这家社会企业的创始人横石知二眼看着山区经济萧条，一直想能为村里的老人和妇女找到合适的工作。有一回出差时在一家寿司店偶然发现点缀餐盘的红叶和花卉需求量很高。为了让山上的叶子成为有高附加值的商品，横石花了2年时间对高档饭店的需求进行了彻底地分析；他还把加工树叶的老人带到饭店用餐，让他们亲身体会树叶作为商品的价值。此外，横石还学习大型便利店的做法，让老人用电脑管理产品的生产和销售。这些做法都激发了老人参与的积极性。由老人们手工制作的优质商品获得了很高的评价，使上胜村拥有了具有高竞争力的产业。

第三部分是青年社会企业家。近年来涌现出了一批创新型的青年社会企业家。

驹崎弘树是NPO法人，Florence病儿日托中心的代表理事。他大学时代就通过合伙的方式成立了IT企业，在这个过程中驹崎开始接触到了社会企业家这一概念。

人事变动



大家好！

我将于6月30日被委派回国工作，在京任职期间承蒙各位关照，在此深表谢意！

自2003年夏季就任以来，我在京任职已接近5年。即将召开奥运会的北京变化日新月异，我也因此度过了一段非常难忘而美好的时期。

回国后我将继续尽自己的绵薄之力，尽心尽职地做好新的工作。

此外，佐藤训子将从7月起继任我的职位，希望大家一如既往地赐予关照与指导。

最后，再次衷心感谢各位并祝愿各位身体健康！万事如意！

栗山政幸



大家好！

我叫王崇梁，今年五月作为日语教育顾问被派到了北京事务所。来这里之前，我在日本国际交流基金会日语国际中心（浦和中心）从事对日语教师的进修工作。每年，从世界各国大约有五百名日语教师来日语国际中心参加进修。在那里我认识了很多国家的日语教师，也包括来自中国大学和中学的日语教师。从他们身上使我学到了很多。

这次能来我的母国工作，感到非常高兴。21世纪被认为是亚洲的时代。为了迎接这个亚洲时代的到来，我感到中日两国民间的相互了解，相互交流，是很重要的。学习日语对相互了解，相互交流，理解日本文化能起到积极的作用。现在，中国有很多人在学日语。我希望我的工作能为中国的日语教育以及中日两国的友好作出一些贡献。希望大家支持我的工作。谢谢！

王崇梁

中有许多人有志于成为漫画家或作家，语言工房为有这样志向的人提供生活和培训的场所。

除了以上介绍的事例以外，值得关注的还有‘妈妈之家’股份有限公司的山口绘里子，通过在孟加拉国当地设计生产品牌口袋的做法来帮助当地解决贫困问题；NPO法人ASK-NET的毛受芳高通过普及‘教育协调员’制度来推动企业家和本地居民参与学校的教育等等。年轻人从自己的角度关注，发现社会问题并在此基础上建立了自己的事业。这样的例子正在不断涌现。

今后的展望

综上所述，目前以青年人为中心的社会企业正在经历一个快速成长期。然而，这些社会企业在资金和人才培养方面都面临着一些共同的课题。尤其值得重视的是，很多机构都埋头于眼前的工作，而没有余力投入到人才的培养上去，这对机构中、长期的发展将是一个很大的挑战。笔者认为需要创造一个能让更多有丰富商业经验的青年人才参与到企业经营中去的环境。



みなさま、3年間本当にお世話になりました。5月18日をもって任期を満了し帰国しました。この3年間で200日ほど地方出張に出かけ、200に近い教育機関を訪問することができました。中国語がろくにできない私が、たいした不安を感じることもなく全国を飛び回っていたのは、行く先々での諸先生方のお心遣いがあったからこそです。ここで改めて感謝の念を表したいと思います。本当にありがとうございました。

私がこうして気ままにさまざまな地方にお邪魔することができたのは、実は着任してまもなく、北京事務所が専門家2人体制となったおかげでもあります。ホームページ管理や目立たない事務仕事などをすべて吉田専門家が引き受けてくれたからこそだと思っています。また張玉潔職員がいなければ、出張などただの一度も行けませんでした。切符や宿の手配から飛行機が遅れた八つ当たりまですべて彼女が引き受けてくださり、またかなにより自由に仕事をさせてくださり、温かく見守ってくださった北京事務所の皆様へ感謝したいと思います。ありがとうございました。楽しい3年間でした。

小西広明

あまり優秀でも熱心でもない学習者のための日本語教授法

国際交流基金北京事務所
日本語教育アドバイザー
小西広明

はじめに
皆さまこんにちは。このシリーズは筆者帰任のため今回が最終回となりました。3年間の中国勤務でしたが、150校を超える日本語教育機関を訪問し、シンポジウムや研修会などで何百人もの先生方にお会いしました。さまざまなお話を伺ううちに、この「あまり優秀でも熱心でもない学習者」の存在が浮かび上がってきました。「わたしが学生のころは、一台のカセットデッキで寮のみんなと一緒に聞いて、必死に勉強したものだ。最近の学生は一人一台パソコンを持っているが…」といった話をよく聞きます。2007年の高考は募集人数567万人に対し、受験申込者数は約1010万人に上ったそうです。もちろん過去最多です。このうちの何人が日本語を勉強するのか定かではありませんが、国際交流基金の2006年度調査によると、中国にある日本語教育機関1,544機関中、日本語、日本語教育学、日本研究に対して学士号を授与している機関は387機関あります。こちらは世界最多です(2位の米国で180機関)。

わたしは、「あまり優秀でも熱心でもない学習者」が「ある日突然優秀になることは不可能」だが、「ある日突然熱心になることは可能」だと考えています。そしてそれをするのが日本語教師の主な仕事だとも思っています。日本語という言葉とその背景にある文化や習慣に興味を持ってもらうこと、楽しんでもらうことが仕事だと思うのです。さらに言えば、こと「ことばの習得」に関しては優秀かどうかなんてあまり関係がないんじゃないか…とも思っています。

今シリーズは「いかに優秀にするか」ではなく、「いかに熱心にするか」という観点で「モチベーションを高める授業」と題し、いくつかの提案をしてきましたが、いかがだったでしょうか。では、もう少しお付き合いください。

モチベーションを高める授業(4) -教科書から離れてみる-

中国ではたくさんの教科書が出版され、使用されています。それぞれに特色があるのだと思いますが、ほとんどは構造言語主義に基づいて文法を積み上げていく形

式のようなものです。つまりことばを勉強することだ、という考え方でですね。そのため教科書には習うべき文法や語彙がきちんと順番を考えて配列されてあって、その文法や語彙の理解、定着、確認のために読解文や会話文といった形の素材があります。つまり読解文を読むために文法を習うのではなく、習った文法を使うために読解文や会話文があります。ですから例えば学習歴1ヶ月の学習者が「今朝バスの中で足を踏まれた痛さ」を日本語で訴えようとしても、受身の文型が出てくるまで待たなければならぬことになってしまいます。

「教科書から離れてみる」というのは、理解したい日本語、使用したい日本語がまずあって、そのために必要な文法や語彙を習う、ということです。学習者が好きなアニメや歌を考えるとわかりやすいでしょう。彼らは好きなアニメのせりふや歌詞を覚えるため、実に一生懸命耳を傾け、何度も聞き直してはメモを取り、辞書で意味を調べます。ゲーム機や日本製品の説明書もそうでしょうか。あの熱意を是非授業にも生かしてみましょ。アニメのせりふや歌詞で学生が気に入っているものを調べて発表、というのもいいですし、インターネットのホームページを使った読解でもいいと思います。大切なのは学ぶ素材を学生に選ばせる、何を勉強したいか学生に決めさせる、ということです。教科書の進捗とは関係なく、週に30分程度でもこうした時間を設けることによって、学習者の日本語に対する関心と理解がますます深まるのではないのでしょうか。こうした授業の発展形としてアフレコやカラオケ大会・詩の朗読会などができると思います。「学生が好きな日本語を覚えて発表する」というのが基本的な形です。

近年、発音、聴解のための練習方法としてシャドーイング(同歩跟读练习)が注目されています。クラスでよくやるリピート(复述练习)との違いは、リピートは、教師の発話したモデル文が終わったあと、学生が同じ文を言うのに対し、シャドーイングは、モデル文が終わるのを待たずに、追いかけるようにすぐ言うことです。モデル文を記憶するという作業が入らないこと、聞こえた音をすぐ反復すること、が

特徴として挙げられます。戸田(2006)は、発音が上手になった人たちの多くが、シャドーイングや音読を行い、継続していると報告しています。

モチベーションを高める授業(5) -生ものを使ってみる-

「レリア」(realia)ということばを聞いたことがあるでしょうか。「実物・本物」という意味です。特に日本人や日本のものに触れる機会が少ない学習者が対象の場合、なるべく意識的に多くの実物に触れさせることで、日本語を使う臨場感や緊張感が生まれ、より一層の興味を持ってもらえるのではないかと思います。国際交流基金から、「すぐに使えるレリア・生教材アイデア帖」「すぐに使えるレリア・生教材コレクションCD-ROMブック」といった教材も出版されていますが、今ところ中国国内では販売されていません。ただ今はインターネットで多くの日本の生情報が入手可能ですから、それをどう使っていくかという先生方のアイデアのほうの問題なのだと思います。

モチベーションを高める授業(6) -日本語能力試験は到達目標ではない-

日本語人材を採用する側はどう考えているのでしょうか。2006年の第1回全国大学教師研修会で講演いただいたカシオ(上海)貿易有限公司の吉田副総経理は日本企業の求める日本語人材の最低限条件として、「個別の担当を持ちながら、大部分の日本語の資料が理解でき、日本人と直接コミュニケーションができる人材」とおっしゃっていました。企業が必要としているのは、「通訳」ではありません。専門知識を持たない通訳を通して話をすると、時間的なロスもありますし、なにより意思疎通に限界があります。必要とされているのは「通訳」ではなく、営業・購買・生産管理などそれぞれの担当を持ちながら、日本語もできて、通訳を通さずに直接日本人とコミュニケーションできる人材なのです。そういった人がどんどん仕事を進めて成果を挙げて出世するのです。吉田副総経理は「日系企業において部長級まで昇進している人の多くは直接日本人とのコミュニケーション能力を持った人材で占められてい

ますが、それらは、営業担当などの専門知識を有した上で、それに日本語能力が加わり、日本語でのコミュニケーションを任せられるようになった成果として、幹部として登用されるに至っているケースがほとんどと思われます」とおっしゃっています。

多くの日系企業が「日本語能力試験1級」を採用の条件として挙げる傾向にあります。ただ1級取得とコミュニケーション能力との相関はあまり高くはないというのも多くの先生方、日系企業の方々の実感のようです。

おわりに
あまり優秀でも熱心でもない学習者が出席したくなる授業、優秀じゃない学習者でも日本語が上手になる授業をいろいろ考えてきました。いくつか提案してきましたが、一番大切なのは教える先生の人間的な魅力だろーと思います。どこの機関でも日本人教師が会話クラスを担当することが多いようですが、「この人ともっと日本語で話したい」と思われるような魅力が先生個人にあるかどうかだと思います。

最後にわたしがこれまで諸先輩から伺ったいくつかのことばをご紹介します、おしまいの挨拶にしたいと思います。
曰く「医者ほど忙しくても患者さん一人一人の緻密なカルテを作る。われわれ教師も学生一人一人のカルテを作るべきだ」
曰く「どんなにがんばっても努力しても、結果がなかったらもうけはないのが商売の基本。教師も教えていくら、ではなく、学生が覚えていくら、にすればいい」

参考文献
すぐに使える「レリア・生教材」コレクションCD-ROMブック
2008年国際交流基金 スリーエーネットワーク
すぐに使える「レリア・生教材」アイデア帖
2006年国際交流基金 スリーエーネットワーク
戸田貴子(2006)「発音の達人とはどのような学習者か-フォローアップインタビューからわかること-」『第二言語における発音習得プロセスの実証的研究』
"http://www.gsjal.jp/toda/dat/kaken02.pdf"

日本語能力テスト将进行改版

有关一年两次测试和改版后新测试的实施

随着日语学习者人数的不断增加,近年参加日语能力测试的考生人数也走向逐步上升的趋势。2007年12月份的第24次日语能力测试中,仅在中国就有29个城市59个考点约20.2万人参加了此次测试,全世界共有52.4万人参加,成为本测试史上最大规模的一次测试。在参加日语能力测试

的日本国外的考生中约半数为中国考生。(在中国本测试由日本国际交流基金会与中国教育部海外考试中心共同举办)

近期,为了使大家能够方便利用,并更好地提高本测试的信赖性和实用性,决定把本测试从一年一次调整为一年实施两次,并且测试的内容也将重新改版。

-2009年测试将更改为一年实施两次-

迄今为止,日语能力测试在全球只是每年12月举办一次。从2009年开始,将更改为每年举办两次,7月和12月进行本测试。具体日程安排请参照下表。

测试日期	实施测试的级别・水准
第25次 2008年12月7日(日)	1级、2级、3级、4级 (全级)
第26次 2009年7月5日(日) (日本国内・中国・韩国等部分地区)	1级、2级
第27次 2009年12月	1级、2级、3级、4级 (全级)
第28次 2010年7月	N1、N2
第29次 2010年12月	N1、N2、N3、N4、N5 (全水准)

-2010年将开始实施新版测试-

自1984年开始实施日语能力测试以来,已经历了24年的历程。1984年当初的全球考生人数仅为7千余人,但是,2007年考生人数达到了52.4万人,考场也发展到海外的49个国家・地区的137个城市。日本国际交流基金会通过对多年来的日语能力测试的结果分析认为有必要研制出更能在社会中起到积极相应作用,同时也能准确衡量每个考生日语能力水平的高水准测试,因此决定对日语能力测试进行改版。

N4: 与现行的3级水平大体相同
N5: 与现行的4级水平大体相同
N1-N5的测试分别由「读解测试(包括文字・词汇、语法)」及「听力测试」组成。新测试没有写作或口试。

3. 表示“能做○○”/Can-do Statements
新测试提供日语能力水平的具体参考例子,例如,表明合格N1的考生能用日语做○○等。因此除了现行测试表示的成绩分数之外,还有日语水平能力的具体例子。因此,考生能根据自己的日语水平,制定今后的学习目标与计划。并且在就业或上学时,能向有关方面提示自己日语能力的具体例子。

4. 得分等化方式
“分数等化”是指具有同一能力的考生参加考试每次应得到同样的分数。比较大规模的外语能力测试都已经实施此得分等化方式。能保证考生无论参加哪一次测试都能得到类似的分数。

5. 考题不公开
从新测试开始,除了样题之外日语能力测试的考题不公开。这是为了保证测试的质量。

有关其它改版的详细内容今后将预定在日本国际交流基金会的网站上公开发表。敬请关注。

新测试概要

1. 新测试的目标
新测试的主要目标是能够测定每个考生怎样运用日语来解决问题的能力 and 考生的日语知识。

2. 五级制
为了适应日语教育的变化,调整各级之间的难易度,在这次的改版中,将现行测试的4级变更为5级。

现行测试	1级-2级-3级-4级
新测试	N1-N2-N3-N4-N5 "N": NIHONGO & NEW

N1: 与现行的1级水平大体相同,只是在原有的基础上提高测定运用能力的水平
N2: 与现行的2级水平大体相同
N3: 在现行的2级与3级之间的水平

“长春中日交流之窗” 隆重开馆

2008年5月26日上午10:00,由长春市人民政府外事(侨务)办公室、日本国际交流基金会日中交流中心和长春图书馆共同创办的“长春中日交流之窗”开馆仪式在长春图书馆一楼大厅隆重举行。

开馆仪式由市政府副秘书长丛洪深主持,长春市委常委、常务副市长姜治莹、长春市文化局局长吴强、长春市人民政府外事办公室副主任薄中棠、吉林省图书馆党委书记杨柏林、长春图书馆馆长刘慧娟,日本国际交流基金会理事长小仓和夫、日本国驻沈阳总领事馆领事奥正史、长春日本商工会会长中岛真治、日本SAKO建筑设计公司总经理迫庆一郎、日本著名配音演员古谷徹出席仪式,并为“长春中日交流之窗”开馆剪彩。吉林大学、东北师范大学、长春理工大学等在长大专院校的有关负责同志,长春市少年儿童图书馆、长春图书馆分馆馆长、在校学生代表、在校日本留学生代表,以及社会各界读者百余人参加了开馆仪式,并参观“交流之窗”。

“长春中日交流之窗”是以因特网、音乐、图书及杂志为载体与途径,让长春市民了解日本最新信息、流行音乐及时尚等日本文化的窗口。通过举办“日语角”、日本文化体验等活动,实现长春人与日本人“面对面”的相互交流。共设立阅览天地、音乐广场、信息平台、映像空间四个读者活动区域。在阅览天地,读者可以浏览到日本最新的图书、漫画和杂志;在音乐广场,读者可以欣赏到日本最新的音乐;通过信息平台,读者可以查询到日本相关的信息;在映像空间,读者可以看到日本最新的影视作品。“长春中日交流之窗”采取会员制,会员可以借阅和检索日本文献资料,参加各种会员活动。

“长春中日交流之窗”的设立将进一步加强中日两国人民的相互了解,增进中日两国人民的友好情谊,作为中日之间心连心的纽带,一定会为中日两国的文化交流发挥积极的作用。
(转载自长春市图书馆网站)



“延边中日交流之窗” 隆重开馆



6月21日,“延边中日交流之窗”开幕典礼在延边大学隆重举行,日本驻沈阳总领事馆松本总领事、延边大学朴永浩副校长、延边朝鲜族自治州侨务办公室许正彬主任以及日本国际交流基金会北京事务所小岛副所长出席了开幕典礼并致开幕词。“延边中日交流之窗”将在当地的日本人和关注日本文化的延边地区人民的支持下,开展丰富多彩的交流互动,进一步推进中日两国人民的友好交流。



在“中日交流之窗”内,中国的普通老百姓将可以通过互联网、音乐制品、杂志、漫画、书籍来了解日本的流行音乐(J-POP: Japanese Pop Music)、流行时尚,从而使这里成为接触日本流行信息和年轻人文化的窗口。此外,在居住在当地的日本人和曾在日本留学工作过的中国人的亲身参与和帮助下,我们还将致力于面对面的草根交流。继第一号的“成都中日交流之窗”之后,长春、延边、南通的“中日交流之窗”相继成功开设,今后我们会在中国其它地方城市也陆续开设。

2008年3月~6月 活动一览

2008.03

03.5
in 北京
媒体交流会

03.8
in 北京
基金会访日资助项目
“访日学者联谊会”



03.13-15
in 北京
春季全国中学日语教师培训研讨会

为了不断提高我国中等日语教师的日语水平和教学能力,并为其提供交流日语教学经验、了解国内外日语教学现状的平台,由日本国际交流基金会北京事务所与课程教材研究所在北京事务所多功能厅共同举办了此次研讨会。

此次研讨会特邀了52所学校的52名今年教授高三日语课程的日语教师与会,主要内容为高考对策研讨。由基金会的日语教育顾问、专家等向与会教师们进行了模拟考试与说明、问题分析与指导法(文法/听力/读解/作文)的授课。

老师们在研讨会中积极研讨、认真学习,并对此次会议的举办给予了肯定和好评,大家纷纷希望今后能够继续多参加这样受益匪浅的会议,并期待下次与同行们的交流和见面。



2008年春季全国中学日语教师培训研讨会
主办:教育部课程教材研究所 日本国际交流基金会北京事务所
协办:卡西欧(上海)贸易有限公司

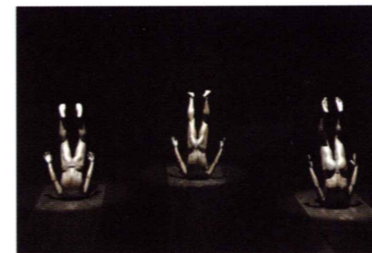
04

03.15
in 北京
第一届中国大学日语教师访日
研修参加者特别讲座



03.20-21
in 北京
We're Gonna Go Dancing!!
in Beijing 2008

3月20日、21日在北京市朝阳区文化馆“9个剧场”的公演,吸引了从艺术家到学者、学生等社会各界朋友前来观看。对于真正的“当代舞”尚感新奇的中国观众,本次演出带来的不仅是视觉上的强大震撼,更是一次观念上的巨大冲击。



03.22-23
in 哈尔滨
第二届中国中学日语教师访日研修
参加者集中研讨会



04.3-6
in 沈阳
辽宁省日语学科中考考研研讨会

05

05.
in 北京
2008年度北京大学中日文化节

05.10
in 山东鲁东
鲁东大学第一届日语文化节

05.23-06.21
in 合肥
2008安徽日本文化节



05.30-06.2
in 北京
亚洲国际将棋交流活动



06

06.21
in 北京
J-Meeting Beijing 2008

6月21日,由GENEON Entertainment株式会社著名音乐制作人川村明广先生演讲会、田井中彩智演唱会暨歌迷见面会两大板块组成的J-Meeting Beijing 2008在北京昆仑饭店华丽上演。这是一次J-POP新老乐迷们的视听盛会。



来自图书馆的消息



图书馆内收藏有与日本和日语相关的书籍和影像资料(免费借阅)。

开放时间

星期一~星期五 (10:00-17:00)
星期六 (13:00-17:00)

好消息

本图书馆新引进了杂志『アニメージュ』, 主要介绍有关动漫的故事梗概、人物角色及配音演员等各方面的详细信息, 让您能够更好地欣赏和感受动漫文化。杂志还提供了有关动漫的最新前沿情况, 让您把握“此刻”的日本动漫。



基金会“出版·翻译”资助图书入库

『勇者物語』

宫部美雪 著 林青华 译 北京十月文艺出版社
2008年出版



十一岁的少年三谷亘平静的生活突然发生了巨大变化, 原来祥和安宁的家庭眨眼间四分五裂: 原来在钢铁厂工作的父亲三谷明忽然抛妻弃子离家出走, 悲痛欲绝的母亲遭受巨大打击, 只想一死了之。正在三谷亘彷徨无助、万念俱灰的时刻, 他内心深处隐藏着

的意志忽然开启了通向另一个空间的大门, 他冥冥中似乎可以“进入”那个神秘的“幻界”。那里居住着可以扭转人类命运的女方, 所有成功到达“命运之塔”的勇敢之人都将得到女神的眷顾与祝福。为了唤醒父亲, 为了拯救母亲, 为了回到过去一直都其乐融融的家庭生活, 三谷亘振奋勇气, 他要前往“幻界”, 即使经历万千苦难, 他也要去向剑与魔法的世界, 要去登“命运之塔”, 上朝觐女神。于是, 三谷亘踏上了冒险的旅途, 要靠自己去改变自己的命运。他进入幽灵大厦, 打开通往幻界的“要御扉”, 走进了一个神秘而幻想的世界。经历了无数磨难, 无数次面临种种生死攸关, 但他凭着“勇者”的勇气和智慧, 勇闯难关, 完成了一段壮烈的旅途。三谷亘“回来”了, 妈妈也回来了, 一场梦一样的经历使他真正变成了一位勇者, 他的生命也当真改变了。

编辑评语:

《勇者物語》为宫部美雪耗费了多年心血后才隆重推出的重要作品, 该作品不但在日本引起了巨大的反响, 在中国台湾, 也深受无数读者喜欢。

作者宫部美雪乃是日本著名的畅销书作家, 自20世纪80年代后期以来, 已出版过二十多部很有影响的作品。尤其是《模仿犯》、《理由》、《蒲生邸事件》、《龙眠》等, 在中国都有很大的影响。《勇者物語》一方面将作家推理小说的“推理”功底发挥得淋漓尽致, 使作品悬念迭生引人入胜, 一方面又引入如今风靡全球的“奇幻”手法, 尤其是将“奇幻”和“冒险”两大热门元素很好的结合起来, 从而使作品的幻想性达到了极高的水平。由于这两个方面的结合, 《勇者物語》在具有良好的阅读想象空间的同时, 也从今天面临重大压力的家庭和孩子以巨大的安慰。

作品文字优美, 想象力丰富, 情节转合自然, 是一部具有巨大文学价值和阅读愉悦的优秀作品。

责任编辑 赵雪芹

08年2月~08年6月 最受读者欢迎图书



『はじめての和食』

監修: 藤田裕子 ナツメ社 2006年出版



『東京奇譚集』

作者: 村上春樹 新潮社 2005年出版



『二人乗り』

作者: 平田俊子 講談社 2006年出版

基金会推荐日语教材



『国際交流基金日本語教授法シリーズ』

日本国际交流基金会日语国际中心长年实施海外日语教师研修。本教材基于此研修的经验编成。本教材系列构成共14篇, “教授听解”, “教授会话”等6篇已发行。



『日本教師必携 すぐに使える「レリア・生教材」コレクション CD-ROMブック』

为了便于日语教师在授课中使用, 本教材收录了日本食品、药品的包装, 餐厅菜单, 杂志以及报纸的文章等共约500篇资料。可在电脑上显示, 并可打印。